

整理番号 2022M-088
補助事業名 2022年度 プラスチック・ゴム加工機械の国際競争力に資する標準化推進 補助事業
補助事業者名 一般社団法人 日本産業機械工業会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

プラスチック加工機械及びゴム加工機械はあらゆる製品の製造に使用されており、消費者の生活基盤を支えている。これらの加工機械の市場は益々グローバル化し、各国の安全規格を統一する必要性の高まりからISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）が設立された。日本が今後も世界市場で競争力を維持するためには規格開発に深く関与することが重要であることから、TC270及び傘下のWGの国際会議に専門家委員を派遣し、日本の意見を規格への確に反映させる。そのために国内の各分科会で規格案を精査して必要な主張を適宜行っていくなど、標準化活動を推進する。

(2) 実施内容

① 国際会議派遣 (<https://www.jsim.or.jp/business/jka-granted-project/>)

以下のISO/TC270及び傘下の国際会議に専門家を派遣し、日本意見の反映に努めた。

- a. 2022年5月23日開催 ISO/TC270/WG2 第1回国際会議（オンライン会議）
- b. 2022年5月25日開催 ISO/TC270第8回総会（オンライン会議）
- c. 2022年6月21日開催 ISO/TC270/WG2 第2回国際会議（オンライン会議）
- d. 2022年9月27日及び9月30日開催 ISO/TC270/WG3 第8回国際会議（オンライン会議）



日本代表が国際会議にオンラインで参加する会場の様子

2 予想される事業実施効果

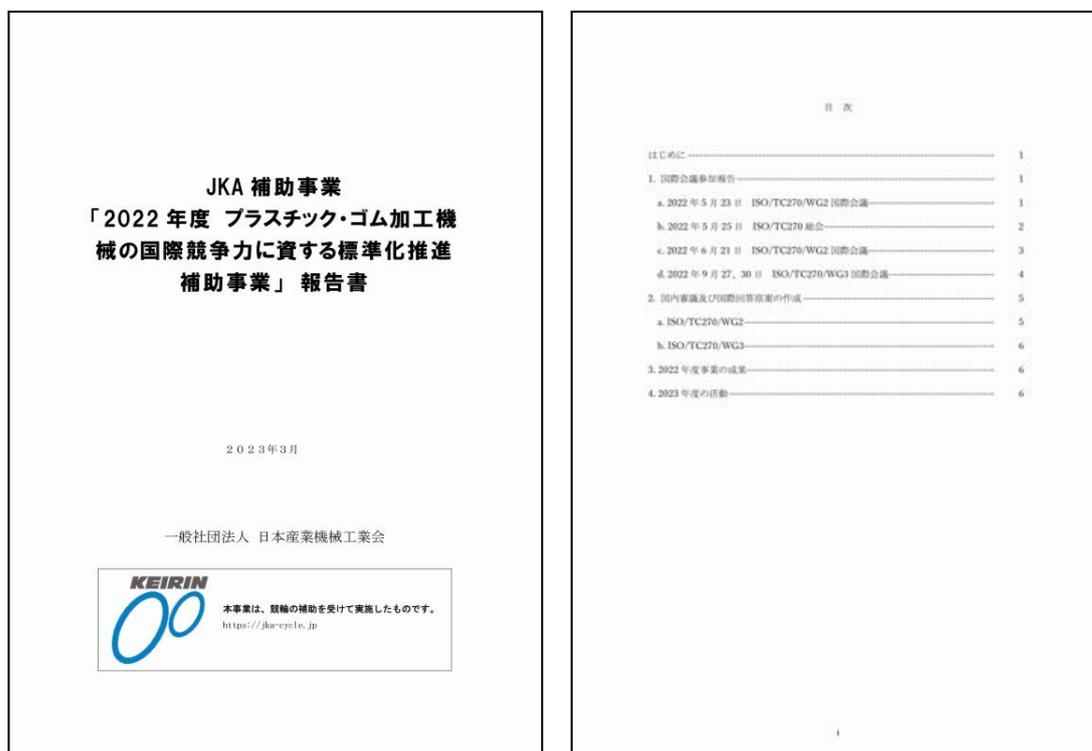
ISO 22506（押出機の安全要求事項）について、従来から存在するアメリカ規格及び欧州規格に基づく要求事項では日本の実情に合わない部分について欧米の関係者と議論を重ねながら日本の主張を通していくことにより、日本のメーカーが競争で不利にならない、場合によっては有利に働く規格を作成し、旧来の押出機と比べて大きく安全性を向上させつつ、世界での競争力の維持・強化を図ることが効果として期待される。

ISO 23582-1（マグネットクランプシステムの安全要求事項）について、規格開発が最終局面に入ったことで、今後はこれを普及させていくことが重要になる。規格が制定されることで世界的に安全の水準が引き上げられ、安全対策が不十分な装置と比較して価格面で不利な競争を強いられてきたケースにおいて競争力の強化が図れる。また、安全の仕様が規格によって集約・統一されることで装置の互換性が増し、設計の簡略化、信号やインターフェースの標準化が進み、設備導入や保守の面からも効率化が期待される。さらに、標準化が進むことで、これまで地域規格や商慣習が非関税障壁となっていた市場に対して日本の製品を売り込む足掛かりとすることができる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

JKA補助事業「2022年度 プラスチック・ゴム加工機械の国際競争力に資する標準化推進補助事業」報告書



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの

(一社) 日本産業機械工業会機関誌「産業機械」2023年5月号



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本産業機械工業会

(イッパンシャダンホウジンニホンサンギョウキカイコウギョウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館4階405号

代表者： 会長 齋藤 保 (サイトウ タモツ)

担当部署： 産業機械第二部 (サンギョウキカイダイニブ)

担当者名： 原 大夢 (ハラ ヒロム)

電話番号： 03-3434-6826

F A X： 03-3434-4767

E-mail： hara@jsim.or.jp

U R L： <https://www.jsim.or.jp/>